昭和58年4月15日発行

No.19

泉南走ろう会

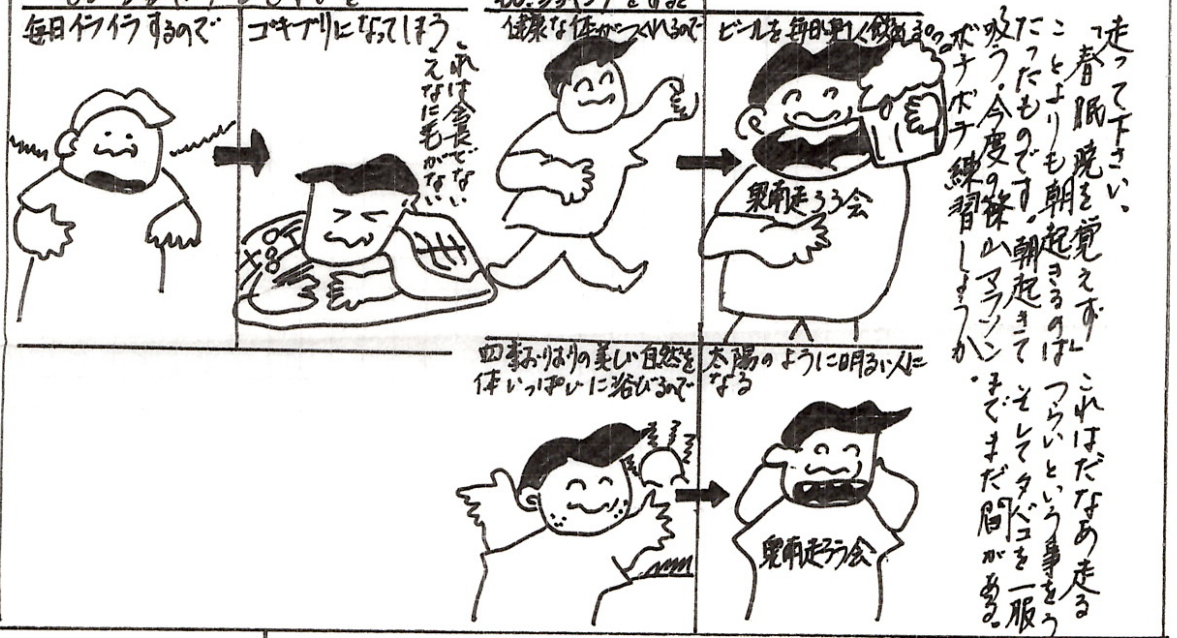
連絡先
泉南スポーツ社
0724 48・3・4653

走る楽しさについて

会長　途　健三

泉南走ろう会の機関紙も第十九号となりました。事務局では原稿集めや編集、印刷にとわれわれ手間です。さらに校正、浄書には事務局長の奥さんは事実上の編集局長だそうです。楽しい原稿又馬鹿らし、或阿呆な男の物語り等これらを編集する奥さんに先づは敬意と感謝いたします。走る仲間も増え五十名目前になりたいものです。

ところで皆さん、フルマラソンシーズンも一応終りフルマラソンとはあんなものかと気抜けしてはいませんか。選抜高校野球に優勝した池田高は早々徳島に帰りました。何故なら「外のチームはもう翌日から練習している。我々は優勝したお陰で宿舎に残り、その分だけより二日練習が遅れた」と監督は笑っておりました。そのようにすぐ練習に取り組んでおります。私達はプロでも選手でもなくがむしゃらに走る必要がありませんが続けてトレーニングしたものです。そこで皆さん走る楽しさをたくさん持ちましょう。走る意義や楽しさはたくさんあります。体調をよくし、健康を維持する楽しさ。日々の天候や自然の移り変わりを見る楽しさ。（車の中からでは駄目）走る仲間と語り合いながら走る楽しさ。大会に出場して記録や順位をめざす楽しさ。シューズやウアーをいろいろ身につける楽しさ。特に五十才以上のおっさんが走る時にはいかっこうしてダンディ・ハイカラになりましょう。走ることに飽きる事なく



走って下さい。「春眠暁を覚えず」ことよりも朝起きるのはつらいという事をうたったものです。朝起きて吸う今度の様ハマラソンまでまだ間がある。これはだなあ走るそしてタバコを一服ボチボチ練習しましょうか。

走る仲間を増そう

石橋義春

泉州の桜も葉桜が多くなり、いよいよ若葉の季節になりそうだ。私は仕事柄、毎日のように外に出て いろいろな人と接触する為か、自分で走っているという人に出くわす。そんな人に私達といっしょに走りませんかと誘うとかしこまって走っていないからと敬遠気味の返事が返ってくる。何故だろうかと、走るという事は孤独なスポーツだからなのだろうか。アメリカでは走る会なる存在は余りないという事は新聞で読んだ事がある。アメリカは自分で仕事の合間をぬってまた時間の許す範囲で個人主義の徹底したお国柄らしい。あったりにも個人主義の徹底したお国柄らしい。しかし、一寸ふり返ってみるに、私達の会だって余り変らないように思う。私達の会は月頃は毎日なり隔日なり、週一回なり、人それぞれに走り月一回ないし二回程度合わせてワイワイ、がやがや走るだけである。そこで感じたことは、私達の会は互いに未だよく知り合う会ではない事を徹底して説明する必要があったのではないかという事であった。私だって月一回の定例のうち、必ずといっていい程一回は参加できない。皆さん、もし少しでも走ろうか、これから走りたいという才がおられたならば、是非とも私達といっしょに走ることをすすめようではありませんか。この家庭市に走ろう会を続けて仲間として、走る人を増やそうではありませんか。走ることの喜びを我々手でひろめようではありませんか。

新入会員紹介

山内博之さん、男性、年令四十九歳、
住所　泉南市信達牧野[redacted]
前回の定例四月三日より参加です。
皆さん宜しくお願いします。

次回定例ランニングのお知らせ

次回定例ランニングは四月十七日（日）午前九時より。A班上之野の皆さんコース、B班自根野の皆さんコースをゆっくり走りましょう。

Text